

セクション 1: 製品および会社情報**1.1 製品の情報**

製品の形態:	液体
物質の名称:	セリア(酢酸塩安定化)
製品の名称:	NYACOL® CEO2(AC)
シノニム名:	酸化セリウム
CAS 番号:	1306-38-3
インデックス番号:	なし
EINECS 番号:	215-150-4
REACH 登録番号:	未登録。
化学式または構造式:	CeO ₂

1.2 特定された用途および使用上の制限

推奨用途:	セラミックス。
使用上の制限:	工業用に限る(食品、医薬品、家庭用に使用しない)

1.3 安全データシート供給者の会社名称、所在地、および電話番号

会社名称:	Nyacol Nano Technologies, Incorporated Megunko Road, P.O.Box 349, Ashland, MA 01721 U.S.A. 508-881-2220
メールアドレス:	info@nyacol.com
会社ホームページ:	www.nyacol.com

1.4 緊急連絡先電話

	米国/カナダ CHEMTREC: +1 (703) 527-3887
緊急時:	国際 CHEMTREC: +1 (703) 741-5970 24 時間年中無休

セクション 2: 危険有害性の要約**2.1 物質または混合物の分類****29 CFR 1910(OSHA HCS)に基づく GHS 分類**

分類できない。

CLP 規則 (EC) No.1272/2008 による分類

分類できない。

2.2 ラベル要素

ラベル表示なし。

注意喚起語: 該当しない。

危険有害性絵表示: 該当しない。

危険有害性情報: 該当しない。

注意書き該当しない。

2.3 その他の危険有害性

成分が PBT または vPvB 物質の基準を満たしていない。

セクション 3: 組成および成分情報

内容: 以下の成分からなる混合物。

成分名:	製品の情報	GHS 分類	重量パーセント
酸化セリウム:	CAS: 1 306-38-3 EINECS: 215-150-4 インデックス: なし	分類できない	20
酢酸	CAS: 64-19-7 EINECS: 200-580-7 インデックス: 607-002-006	引火性液体 3, H226 皮膚腐食性 1 A, H314	3*
水:	CAS: 7732-18-5 EINECS: 231-791-2 インデックス: なし	分類できない	77

*濃度がカットオフ値を下回っているため分類基準を満たさない。

不純物: 存在量は分類のために考慮すべき水準を下回る。
 安定化添加剤: なし
 供給者は現時点において、分類済みの付加成分であって本物質の分類に影響するものについて承知していない。
 上に記載されたものについては「セクション 16」の危険有害性の一覧表を参照。

セクション 4: 応急措置

4.1 応急措置の記述

眼に入った場合: 直ちに十分な量の水で 15 分以上洗眼する。まぶたを開いた状態で眼球表面全体とまぶたを流水ですすぐ。医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合: 十分な量の水で洗い流す。汚染された衣類や靴を脱ぐ。症状が出た場合は医師の診察を受ける。

吸入した場合: 吸入した場合は空気の新鮮な場所に移す。ばく露源から人を離す。医師の診察を受ける。

飲みこんだ場合: 飲み込んだ場合は直ちに医師の診察を受ける。医療従事者の指示がない限り無理に吐かせない。マグネシア乳その他の医療用制酸剤と多量の水を与える。意識がない場合は絶対に口から物を与えない。

応急措置設備: 洗眼所。

医師への助言: 追加の関連情報はない。

4.2 急性症状および遅発性症状の最も重要な徴候症状

急性または遅発性の症状は予想されない。

4.3 救急医療処置または特殊な処置に関する注意事項

追加の関連情報はない。

セクション 5: 火災時の措置

5.1 消化剤

適切な消火剤: 環境に応じた消防措置を行う。全て可。容器に散水して冷却する。

使ってはならない消化剤: 追加の関連情報はない。

5.2 物質または混合物が原因となる特別な危険有害性

製品の引火性:	非引火性。
化学物質が原因となる特別な危険有害性:	酸煙発生の可能性。可燃性の製品には一酸化炭素および二酸化炭素が含まれる場合がある。
火災による危険有害性:	容器は熱や火にさらされた場合、圧力が上昇する可能性がある。
爆発による危険有害性:	追加の関連情報はない。
反応性:	追加の関連情報はない。

5.3 消火を行う者への助言

消火活動を行う者の特別な保護具:	標準的な全身防火服を着用し、呼吸器保護具 (SCBA: 自給式呼吸器) を装着する。
------------------	--

セクション 6: 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

保護眼鏡および不浸透性手袋。蒸気またはミストがある場合、承認を受けた濾過式呼吸用保護具 (APR) を装着する必要がある。

6.1.1 非緊急事態要員に対して

蒸気、ミスト、粉塵の吸入を避ける。保護具を装着する。保護具のない者を近づけない。

6.2 環境に対する注意事項

下水道、排水溝、地面への流出を防ぐ。環境への排出は避けなければならない。

6.3 封じ込めおよび浄化の方法と材料

蒸気、ミスト、粉塵の吸入を避ける。流出物または漏出物は砂、粘土、または吸収剤で封じ込める。液体を回収して再利用または廃棄する。下水または地表水への流出を防ぐ。吸収剤、廃棄物、汚染土壌は容器に入れて廃棄する。材料は許可を受けた廃棄物処理業者に処理させる。

6.4 他の項目の参照

ばく露防止および保護措置、または廃棄上の注意についての詳しい情報は、本データシートのセクション 8 およびセクション 13 を参照。

セクション 7: 取り扱いおよび保管

7.1 安全な取扱いのための注意事項

取り扱いは実行可能な限り最小限に抑えるべきである。必ず換気のよい場所で使用する。使用中はミストが発生しないようにする。ミストまたは蒸気を吸入しないようにする。使用しないときは容器を密閉する。

7.1.1 保護措置

必ず換気のよい場所で使用する。予防措置として、標準的作業具の装着が勧められる。禁煙。熱から防ぐ。

7.1.2 一般的な労働衛生に関する助言

吸入、経口摂取を避け、また目に入らないようにする。物質の安全な取り扱いを確保するため、一般的な職業衛生措置が求められる。そうした措置としては、特に明記されていない限り、十分な人への訓練及び施設の清掃の励行 (例えば、適切な洗浄器具による定期的な洗浄)、職場での飲食や喫煙の禁止、標準的な作業服や作業靴の着用などがある。使用後は手を洗う。食事場所に入る前に、汚染された衣服と保護具を外す。勤務シフト後に体を洗い、着替える。汚染された衣服を自宅で着用しない。

7.2 混触危険性などを考慮した安全な保管条件

冷凍しない。保管場や作業場は十分に換気を行う。涼しく湿気の少ない場所に保管する。容器は密閉する。

7.3 特定の最終用途

追加情報なし。本 SDS のセクション 1.2 を参照。

セクション 8: ばく露防止および保護措置

8.1 管理指標

酸化セリウム (CAS 番号: 1306-38-3)

USA OSHA	OSHA PEL 上限	なし
酢酸。CAS #64 19-7		
USA OSHA	OSHA PEL 上限	10 ppm

8.2 ばく露防止

設備対策:	職業被ばく制限を満たす十分な換気。
衛生対策:	作業者は毎日数回、皮膚露出部を石けんで洗うようにする。汚れた作業服は洗濯またはドライクリーニングする。
呼吸:	空気濃度は可能な限り低い水準を維持する。 必要な呼吸器保護または濃度が不明な場合、承認を受けた濾過式呼吸用保護具 (APR) に蒸気カートリッジを装着して使用する。
手:	ネオプレンなどの不浸透性手袋を着用する。
目:	安全ゴーグルが推奨される。
皮膚:	清潔な保護衣、ネオプレンなどの不浸透性手袋を着用する。作業者は毎日数回、皮膚露出部を石けんと水で洗うようにする。汚れた作業服は洗濯またはドライクリーニングする。
環境ばく露管理:	安全に実施できる場合、更なる漏出または流出を防ぐ。製品を排水溝に流出させない。環境への排出は避けなければならない。

セクション 9: 物理的および化学的性状

9.1 基本的な物理的および化学的性状に関する情報

外観 (物理状態・色):	黄色い液体。製品は水性の材料。
燃焼上限界/下限界 (UFL/LFL) または爆発限界	データなし。
揮発性物質重量:	80%
臭い:	酸臭。
蒸気圧:	データなし。
臭気閾値:	データなし。
蒸気密度:	データなし。
pH:	3.0
相対密度:	1200 kg/m³
水に対する溶解度:	あらゆる割合で溶解。
初留点と沸点範囲:	100°C (212°F) の水
引火点:	該当しない。
蒸発速度:	遅い (酢酸ブチル = 1)。
引火性 (固体/ガス):	自己発火しない。
分配係数:	データなし。
自動発火温度:	データなし。
分解温度:	データなし。
粘度:	<15 cP
比重:	1.22
凝固点:	0°C (32°F) の水
爆発限界:	該当しない。
酸化特性:	データなし。

9.2 その他の情報

追加の関連情報はない。

セクション 10: 安定性および反応性

10.1 反応性

追加の関連情報はない。

10.2 化学的安定性

常温・常圧の場合、想定される保管および取り扱い条件の下で安定的。

10.3 有害反応の可能性

追加の関連情報はない。

10.4 避けるべき条件

塩基性物質による中和。

10.5 混触危険材料

過酸化水素。

10.6 危険有害な分解生成物

酢酸、炭素酸化物。

セクション 11: 有毒性情報

11.1 毒性学的影響に関する情報

急性毒性:

分類用 LD50 値(ラット、経口)

酸化セリウム: >5000 mg/kg

酢酸: 3310 mg/kg

水: なし。

皮膚に付着した場合:

皮膚に触れないようにする。炎症の原因となる場合がある。

眼に入った場合:

眼に触れないようにする。炎症の原因となる場合がある。

吸入した場合:

追加の関連情報はない。

感作性:

追加の関連情報はない。

慢性的影響:

追加の関連情報はない。

発がん性

本材料について EPA、IARC、ACGIH、NTP または OSHA から得られる発がん性に関する分類データはない。

セクション 12: 環境影響情報

12.1 水生毒性

追加の関連情報はない。

12.2 残留性および分解性

追加の関連情報はない。

12.3 生物蓄積性

追加の関連情報はない。

12.4 土壌中の移動性

追加の関連情報はない。

12.5 PBT および vPvB の評価結果

PBT/vPvB 評価は、化学物質の安全性評価が不要／未実施のため利用できない。

12.6 その他の有害影響

専門外の者による取り扱いまたは廃棄が行われた場合、環境危険有害性を排除できない。

セクション 13: 廃棄上の注意

ここに提示された情報は供給時の状態における材料にのみ該当する。材料が既に使用されている、またはその他の方法で汚染されている場合、特性またはリスト表示に基づく識別は適用されない場合がある。生成された材料について、適用規制に基づく適切な廃棄物の識別と廃棄方法を決定するためにその毒性と物理的性状を決定することは、廃棄物発生者の責任である。廃棄は、各地域、国、および地方で適用される法令に従って行う。

廃棄上の注意:

本製品は再利用する、または固化して化学廃棄用に承認を受けた埋立地に廃棄する。

米国:

本製品は RCRA 有害廃棄物に該当しない。

セクション 14: 輸送上の注意

本製品に輸送上の制限はない。

セクション 14.1 - 14.4

規制

米国運輸省 規制対象外。
 ICAO/IATA: 規制対象外。
 IMO/IMDG: 規制対象外。
 ADR: 規制対象外。

14.5 環境有害危険性:

輸送による環境上の有害危険性はない。

14.6 使用者のための特別予防措置:

なし。

14.7 MARPOL73/78 付属書 II および IBC-Code によるバルク輸送

該当しない。

セクション 15: 適用法令

15.1 当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境に関する規制/法律:

世界各地の化学物質インベントリ

EINECS (EU):	全成分を掲載
TSCA (米国):	全成分を掲載
DSL (カナダ):	全成分を掲載
AICS (オーストラリア):	全成分を掲載
ENCS [既存化学物質リスト] (日本):	全成分を掲載
ECL (韓国):	全成分を掲載
PICCS (フィリピン):	全成分を掲載
IECSC (中国):	全成分を掲載
各州の知る権利法:	本 SDS のセクション 3 に本製品の全成分を掲載。
カリフォルニア州プロポジション 65:	掲載されている成分なし。
SARA セクション 311/312 (29 CFR 1910.1200)	GHS による分類なし。
有害危険性:	
SARA 313, 304 および CERCLA 102 (A):	許容限度を超える成分はない。
WHMIS:	酢酸: 開示 1%

15.2 化学物質安全性評価

化学物質安全性評価は実施していない。

15.3 国内法令

化学物質排出把握管理促進法 (化管法) 酸化セリウム: 管理番号: 665 分類: 第一種 政令番号 1-276
 名称: セリウム及びその化合物
 (令和5年度分以降の排出量等の把握や令和5年度以降の SDS 提供の対象)

労働安全衛生法(安衛法)

酢酸 : 名称等を表示すべき危険有害物(法第 57 条、施行令第 18 条別表第 9) ≥ 1
名称等を通知すべき危険有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9) ≥ 1
リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第 57 条の 3)

腐食性液体(労働安全衛生規則第 326 条)

危険物・引火性の物(施行令別表第 1 第 4 号)

海洋汚染防止法

酢酸 : 有害液体物質(Z 類物質)(施行令別表第 1)

消防法

酢酸 : 第 4 類引火性液体、第二石油類水溶性液体(法第 2 条第 7 項危険物別表第 1・第 4 類)

船舶安全法

酢酸 : 腐食性物質(危規則第 3 条危険物告示別表第 1)

航空法

酢酸 : 腐食性物質(施行規則第 194 条危険物告示別表第 1)

セクション 16: その他の情報

省略された「危険有害性情報」の全文:

H 226 - 引火性の高い液体および蒸気。

H 314 - 重篤な皮膚の薬傷および眼の損傷を生ずる。

分類の全文(CLP/CHS)

引火性液体 3, H226, 引火性液体-カテゴリー 3

皮膚腐食性 1A, H314, 皮膚腐食性/刺激性-カテゴリー 1A

全米防火協会(NFPA) 704 健康-1、引火性-0、反応性-0、特別-なし

HMIS® 危険度評価:

保健衛生-1、引火性-0、反応性-0、保護具-B、安全眼鏡、手袋。

推奨用途:

セラミックスへの使用を推奨。その他の用途については調査が行われておらず、他の危険有害性があり得る。工業用に限る(食品、医薬品、家庭用に使用しない)

作業への警告:

本製品を使用する作業者は本 SDS を閲覧して理解するとともに、その材料の適切な使用方法について研修を受ける必要がある。

その他の特別な注意:

なし。

SDS 作成者:

Andrew A. Guzelian
Nyacol Nano Technologies, Incorporated
電話: 508-881-2220 (米国)

改訂日:

2021 年 2 月 16 日

差し替え:

2015 年 6 月 24 日

本 SDS は Nyacol Nano Technologies, Inc. の研究所、原材料供給者、および政府出版物のデータに基づいて作成されている。本 SDS に記載した情報は当社の知る限りにおいて正確である。各種提案はその成果を保証するものではない。本製品の使用者は事前に使用目的への適否を判断すべきであり、使用に伴うリスクと責任は使用者が負う。当社が既存の特許の侵害を提案すること、またはライセンスを受けずに特許発明を実施する許可を与えることはない。

NYACOL® は、Nyacol Nano Technologies, Inc. の登録商標である。